

集落営農法人が地元集落と協力して取り組むイノシシ・サル対策 (山口県岩国市美和町志谷地区)

- 地区内の集落営農法人が中心となり、地元集落、行政、JA、県など関係者で鳥獣被害に係る集落環境調査を実施
- 調査結果をもとに被害マップを作成、鳥獣被害対策を「志谷地区活動方針」としてまとめ、対策関係者及び集落で共有
- 活動方針に従って、緩衝帯整備、侵入防止柵の補修、捕獲活動などの鳥獣被害対策を実施
- 3年間で被害額はイノシシで32%、サルで33%減少

取組内容

- 地区の過半を担う(農)いきいきファーム美和が中心となり、集落での鳥獣問題を確認するため、鳥獣害が多く対策が必要な場所を重点的に巡回し調査
- 調査結果をもとに、集落と対策の合意形成を行い、集落ぐるみでの鳥獣被害対策の実施を決定
- 現状と課題を把握・共有するため、集落、市、JA、県など関係者が3班に分かれ集落環境調査を実施。調査結果をもとに作成した被害マップにより意見交換を行い、今後集落で取り組む活動方針を作成



集落環境調査の実施



調査結果を基にマップを作成

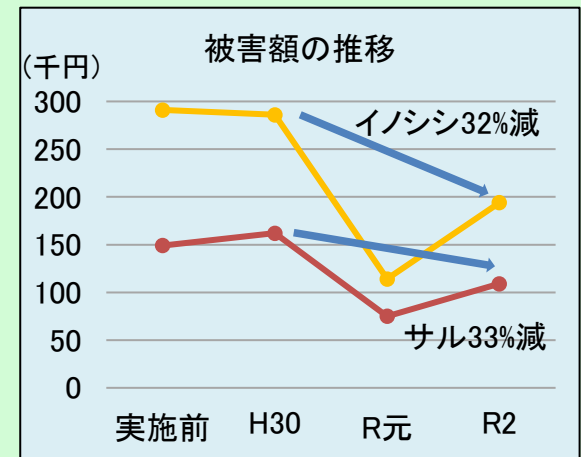


各班から意見発表、意見交換

- 平成29年度はイノシシが出入りしている繁茂竹林を伐採し、緩衝帯を整備。平成30年度と令和元年度には、侵入防止柵の点検を実施し、破損箇所を地図にまとめ、補修を実施。また、猟友会に依頼し、イノシシ用箱わなやサル用大型囲いわなによる捕獲活動を実践

成果

- 集落営農法人が集落と合意形成を行ったことにより、集落一体となって被害防止活動を実践する体制を構築
- 猟友会と連携し、H30年度からR2年度の3年間でイノシシ443頭、サルを11頭捕獲するとともに、緩衝帯の整備、侵入防止柵の補修により、被害額は減少傾向



集落営農法人が地元集落と協力して取り組むイノシシ・サル対策(山口県岩国市美和町志谷地区)

